

第3号議案



2020

ITU世界トライアスロン・パラトライアスロンシリーズ  
横浜大会

事業計画書（案）

## 目 次

<b>1 世界トライアスロンシリーズについて</b>	<b>P2</b>	<b>9 主要スケジュール</b>	<b>P10</b>
(1) 位置付け	P2	(1) エリートパラトライアスロン・エリート	P10
(2) 2020年開催地	P2	(2) エイジグループ	P11
<b>2 世界パラトライアスロンシリーズについて</b>	<b>P3</b>	<b>10 オール横浜による大会支援</b>	<b>P12</b>
(1) 位置付け	P3	(1) ボランティア・運営協力スタッフ	P12
(2) 2020年開催地	P3	(2) スポンサー	P12
<b>3 エイジグループについて</b>	<b>P4</b>	(3) 安全対策	P13
(1) 位置付け	P4	(4) 医療・救護対策	P13
<b>4 開催趣旨</b>	<b>P5</b>	(5) 避難対策	P13
(1) 開催にあたって	P5	<b>11 新たな取り組み</b>	<b>P14</b>
(2) 開催コンセプト	P5	(1) エイジグループ ランコース変更	P14
<b>5 開催概要</b>	<b>P6</b>	(2) アスリートエリアの拡充	P14
<b>6 大会情報</b>	<b>P6</b>	(3) 持続的な環境保全活動の推進	P15
<b>7 エイジグループ エントリー概要</b>	<b>P7</b>	(4) 新たな広報展開	P15
(1) 募集人数	P7	<b>12 オール横浜の取り組み</b>	<b>P16</b>
(2) 参加料	P7	(1) 横浜市との連携事業	P16
<b>8 コースマップ</b>	<b>P8</b>	(2) 横浜開港月間の盛り上げ	P16
(1) エリートパラトライアスロン	P8	(3) EXPOの開催	P17
(2) エリート	P8	(4) 各種パーティーの実施	P17
(3) エイジパラトライアスロン	P9	(5) 大会プレイベントの開催	P17
(4) エイジ	P9	(6) 普及・啓発事業	P17

## 1 世界トライアスロンシリーズ (WTS) について

## (1) 位置付け

「ITU世界トライアスロンシリーズ」は、オリンピックを目指す各国の代表選手が世界を転戦しながらポイントを獲得し、年間のチャンピオンを決定するシリーズ戦です。横浜では、2009年の横浜開港150周年記念事業を機に世界シリーズが創設された初年度から開催し、2020年は11度目となります。

東京2020オリンピック開催直前の国際レースである横浜に世界のトップアスリートが集結します。



## (2) 2020年開催地

	開催日	開催都市・国		開催数
第1戦	3月06日(金) - 07日(土)	アブダビ	UAE	6回目
第2戦	4月18日(土) - 19日(日)	バミューダ諸島		3回目
<b>第3戦</b>	<b>5月16日(土) - 17日(日)</b>	<b>横浜</b>	<b>日本</b>	<b>11回目</b>
第4戦	6月06日(土) - 07日(日)	リーズ	イギリス	5回目
第5戦	6月27日(土) - 28日(日)	モントリオール	カナダ	4回目
第6戦	7月11日(土) - 12日(日)	ハンブルグ	ドイツ	12回目
最終戦	8月21日(金) - 23日(日)	エドモントン	カナダ	7回目

## 2 世界パラトライアスロンシリーズ（WPS）について

## (1) 位置付け

パラトライアスロン競技は、2016年のリオパラリンピックで正式競技となり、2017年に「ITU世界パラトライアスロンシリーズ」が誕生しました。横浜はアジアで唯一の開催国で、「世界一参加したい大会」と称賛され、2020年は東京パラリンピックへの出場ポイントを獲得するための重要な位置付けとなっています。



パラリンピック

横浜

アジアで唯一の  
開催都市


WORLD PARATRIATHLON SERIES  
世界パラトライアスロンシリーズ  
世界選手権

WORLD CUP  
ワールドカップ

Continental Championship  
大陸別選手権  
(アジア選手権)

NATIONAL EVENTS  
国別に開催されている大会  
(一般大会等)



## (2) 2020年開催地

	開催日	開催都市・国		開催数
第1戦	2月29日(土) - 3月1日(日)	デボンポート	オーストラリア	初開催
<b>第2戦</b>	<b>5月16日(土) - 17日(日)</b>	<b>横浜</b>	<b>日本</b>	<b>4回目</b>
第3戦	6月20日(土) - 21日(日)	モントリオール	カナダ	2回目
世界選手権	5月02日(土) - 03日(日)	ミラノ	イタリア	初開催

## 3 エイジグループについて

## (1) 位置付け

エイジグループは、2011年に「エイジ大会」として競技が導入され、WTS/WPS大会に併設された国内最高峰の大会です。

参加者も厳しい参加条件をクリアしたトップレベルの選手が集結し、世界選手権出場に向けたエイジランキングポイントを獲得するための重要なレースに位置づけられています。

一方で、長くトライアスロン競技を楽しむ中で、一つの目標大会でもあり、参加者は16歳 – 最高齢は80歳まで、幅広い年齢層の参加者の皆さまに大会を盛り上げていただきます。



## 4 開催趣旨

## (1) 開催にあたって

## 未来につなぐレガシー

2009年に開港150周年記念事業として開催された「ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会」は、長年にわたり多くの企業・団体・関係者の皆さまにお力添えをいただきながら、大会運営に横浜ならではの様々な創意工夫を凝らし、ITUはもとより、各界から高く評価される大会となりました。

世界各国から集まった選手たちが、山手公園や赤レンガ倉庫、みなとみらい21地区など、横浜の観光名所を舞台に繰り広げる熱戦は、横浜の風物詩となりました。

また、2019年（10回大会）は、過去最多の465,000人の観客を動員し、10年間積み上げてきたトライアスロンレガシーは、「トライアスロン・パラトライアスロンの街、横浜」として、着実に根付いています。

横浜大会は、来たる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、スポーツ振興、シティプロモーション等の様々な取り組みを引き続きオール横浜で推進し、これからもトライアスロン発展の未来に向けて、新たなステージで成長を続けていきます。

## (2) 開催コンセプト



## ① トライアスロン・パラトライアスロンの街、横浜の推進

世界で一番安心、安全でホスピタリティーに溢れ、満足度の高い大会を継続的に開催し、大会の更なる認知向上を図るとともに、次世代を担うことも選、障害のある方、女性など、誰もが参加・体験できる機会を醸成することで、スポーツへの参加意欲を高め、すべての市民等の健康増進を図るなど、トライアスロン・パラトライアスロンを通じた横浜の街づくりを推進します。

## ② 国際都市横浜を世界へ情報発信

海外への映像配信やテレビ放送、大会 WEB サイト等様々な広報媒体を活用して、国際都市横浜の魅力を発信することにより、シティセールスの推進を図ります。

## ③ すべての人が助け合い共に生きていく社会づくり

年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、参加者、観戦者、ボランティアスタッフなどが、さまざまな場面で触れ合い、互いを理解（気づき）する機会を醸成することで、すべての人が助け合い、共に生きていく社会づくり（ソーシャル・インクルージョン）に貢献します。

## ④ スポーツツーリズム推進による横浜の地域経済の活性化

国内外から国際都市横浜へお迎えした多くの参加者や観戦者と、横浜の観光とを融合させ、大会を通じて「する」「みる」「ささえる」ことを楽しんでもらうスポーツツーリズムを推進することで、横浜の地域経済の活性化に寄与します。

## ⑤ 大会運営を通じた地球環境への持続可能な取り組み

関係団体と連携して横浜港の水質環境の改善や地球温暖化対策「横浜ブルーカーボン事業」への参画による地球環境への負荷軽減の取り組みを進めるほか、ISO20121 認証取得の継続など、サステナビリティの高い大会運営を行うほか、環境を軸とした SDGs への取り組みを進めます。



## 5 開催概要

項目	内容
開催日程	2020年5月16日（土）－5月17日（日） 5月16日：エリートパラトライアスロン、エリート 5月17日：エイジグループ（パラトライアスロン、スタンダード、スプリント、リレー）
会場	横浜市山下公園周辺特設会場（山下公園スタート・フィニッシュ）
主催	国際トライアスロン連合、2020世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会 【構成団体】横浜市、日本トライアスロン連合、横浜市体育協会、日刊スポーツ新聞社他
後援（予定）	外務省、スポーツ庁、国土交通省観光庁、環境省、神奈川県、日本オリンピック委員会、日本スポーツ協会、日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、日本イベント産業振興協会、日本スポーツツーリズム推進機構、神奈川県体育協会、横浜商工会議所、横浜港運協会、神奈川経済同友会、神奈川県経営者協会、横浜銀行協会、横浜港振興協会、横浜青年会議所、横浜貿易協会、神奈川新聞社、日本放送協会横浜放送局、テレビ神奈川、横浜エフエム放送、アール・エフ・ラジオ日本
主管	神奈川県トライアスロン連合
助成団体（予定）	日本スポーツ振興センター、横浜子どもスポーツ基金、ミズノスポーツ振興財団
中継等（予定）	・NHK BS1 2020年5月16日（土）10時－15時15分／生放送 ・インターネット中継：ITU TV（triathlon.tv）による全競技ライブ配信 * ITUメディアを通じた世界190以上の国と地域に配信

## 6 大会情報

5月16日（土）		5月17日（日）	
06:50 - エリートパラ		7:15 - 14:00	エイジグループ
10:16 - エリート女子			
13:06 - エリート男子			
交通規制時間			
6:30 - 15:20		7:00 - 14:00（予定）	
エリートパラトライアスロン	エリート	エイジ（スタンダード／スプリント／リレー／パラ）	
70名	110名 （女子・男子各55名）	一般 1,250名 リレー 50組（150名）	一般 300名 パラ 40名
スプリントディスタンス （25.75Km）	スタンダードディスタンス （51.5 Km）	スタンダードディスタンス （51.5 Km）	スプリントディスタンス （25.75Km）
★スイム（0.75km） 山下公園前面海域	★スイム（1.5km） 山下公園前面海域	★スイム（1.5km） 山下公園前面海域	★スイム（0.75km） 山下公園前面海域
★バイク（20km） 山下公園→日本大通り →横浜税関前→ワールド ポーターズ→赤レンガ →大さん橋前→山下公園	★バイク（40km） 山下公園→日本大通り →横浜税関前→ワールド ポーターズ→赤レンガ →大さん橋前→山下公園	★バイク（40km） 山下公園→山下ふ頭 →山下公園	★バイク（20km） 山下公園→山下ふ頭 →山下公園
★ラン（5km） 山下公園→日本大通り →横浜税関前→大さん橋前 →山下公園	★ラン（10km） 山下公園→日本大通り →横浜税関前→大さん橋前 →山下公園	★ラン（10km） 山下公園→赤レンガ倉庫 →象の鼻パーク周辺 →山下公園	★ラン（5km） 山下公園→赤レンガ倉庫 →象の鼻パーク周辺 →山下公園

## 7 エイジグループ エントリー概要

## (1) 募集人数

カテゴリー	人数
1 スタンダードディスタンス	1,250名
2 スプリントディスタンス	300名
3 リレー	50組 (150名)
4 エイジパラ	40名
<b>合計</b>	<b>1,740名</b>

## (2) 参加料

カテゴリー	エントリー費
1 スタンダードディスタンス	29,200円
2 スプリントディスタンス	20,200円
3 リレー	40,600円
4 エイジパラ	20,200円





(3) エイジパラトライアスロン



(4) エイジ



## 9 主要スケジュール

## (1) エリートパラトライアスロン・エリート

## 2020.5.12 (火)

時間	スケジュール	会場
10:00-16:00	スイムトレーニング	YC&AC

## 2020.5.13 (水)

時間	スケジュール	会場
09:00-11:00	エリートパラトライアスロンバイクトレーニング	横浜赤レンガパーク
10:00-16:00	スイムトレーニング	YC&AC

## 2020.5.14 (木)

時間	スケジュール	会場
09:00-11:00	パラトライアスロンバイクトレーニング	横浜赤レンガパーク
10:00-16:00	スイムトレーニング	YC&AC
14:00-15:00	記者会見	ホテルモンテ横浜
17:00-18:00	エリート選手受付	ホテルモンテ横浜
18:00-	エリート選手説明会	ホテルモンテ横浜
18:00-	公式パーティー	ホテルニューグランド
19:00-	アスリートディナー	ホテルモンテ横浜

## 2020.5.15 (金)

時間	スケジュール	会場
06:15-06:31	エリート 前日バイクコース試走	エリートバイクコース
06:32-06:56	エリートパラ 前日バイクコース試走	エリートパラバイクコース
07:00-07:45	エリート スイムコース試泳	エリートスイムコース
08:00-08:45	エリートパラ スイムコース試泳	エリートパラスイムコース
TBA	エリートパラ ラン試走	エリートパラランコース
10:30-11:30	エリートパラ 選手受付	ホテルモンテ横浜
11:30-12:00	エリートパラ 競技説明会	ホテルモンテ横浜

## 2020.5.16 (土)

時間	スケジュール	会場
06:50-	エリートパラトライアスロン競技	各コース
08:00-17:00	EXPOオープン	山下公園
10:16-	エリート女子競技	各コース
12:15-12:30	エリート女子メダルセレモニー	山下公園
12:10-13:00	交通安全パレード	みなとみらいエリア
13:06-	エリート男子競技	各コース
15:00-15:15	エリート男子メダルセレモニー	山下公園
15:20	交通規制解除	各コース
15:30-16:00	エリートパラトライアスロンメダルセレモニー	山下公園
16:40-17:40	キッズドリームフェスタ	山下公園
18:00-19:30	感謝のつどい	ホテルモンテ横浜

## (2) エイジグループ

## 2020.5.15 (金)

時間	スケジュール	会場
17:00-19:00	エイジ受付	横浜市開港記念会館
19:00-	エイジ競技説明会	横浜市開港記念会館

## 2020.5.16 (土)

時間	スケジュール	会場
09:45-19:00	エイジ受付	横浜市開港記念会館
10:30-	エイジ競技説明会	横浜市開港記念会館
16:40-17:40	キッズドリームフェスタ	山下公園

## 2020.5.17 (日)

時間	スケジュール	会場
06:30-	エイジ受付	山下公園
07:00-	オープニングセレモニー	山下公園
07:15-	エイジ競技	各コース
08:00-15:00	EXPOオープン	山下公園
14:00 (TBA)	交通規制解除	各コース
14:00	表彰式	山下公園



10 オール横浜による大会支援

(1) ボランティア・運営協力スタッフ

横浜市スポーツ推進委員や市民ボランティアなど、多くの方々に広く協力を募るとともに、大学や企業と連携し、大会期間中、大会運営の補助をはじめとした選手や観戦者へ、ホスピタリティ溢れる「おもてなし」で、大会運営を支えていただきます。

(2) 協賛企業

本大会は多くの大型スポーツイベントと異なり、大会の権利関係の調整を含むブランディングや協賛企業への提案を代理店等に委託せず、組織委員会スタッフが主体的に実施し、ノウハウや人脈を継続的に積み重ねることで、協賛各社と共に大会を作り上げる一体感の醸成に成功しています。

そして、市民参加型として国内最大規模を誇る横浜マラソン、世界に情報発信を続ける国際大会であるトライアスロン横浜大会を、オール横浜で推進する「横浜スポーツプロジェクト」として展開することで、協賛企業への一貫したスポンサーメリットの提供、年間を通じた露出、横浜市が持つ様々なコンテンツとの緊密な連携など、大会の開催による行政、企業、地域の連携強化にもチャレンジしています。

また、本大会は協賛企業等の継続的な支援を受けることで、協賛金・参加料収入・助成金を3本柱とする安定した収支構造を実現しています。

MAIN PARTNETRS



SILVER PARTNETRS



YOKOHAMA SUPPORTERS



FOUNDING PARTNERS



KIDS PARTNER



PRINTING PARTNER



I/F



I/F



HOST CITY



### (3) 安全対策

#### ア 関係団体との協力体制

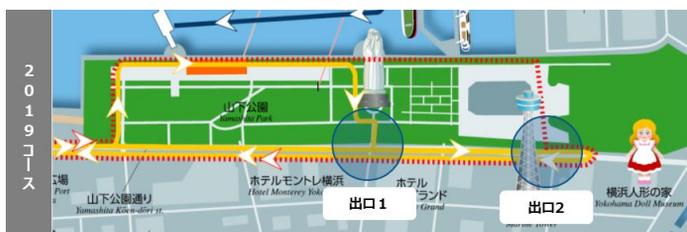
より安全・安心な大会運営に向けて、今大会も引き続き、神奈川県警察をはじめとする関係団体協力のもと、安全対策の強化に努めます。

関係団体	協力内容
神奈川県警察本部および関係6署 (加賀町警察署、横浜水上警察署、 神奈川警察署、鶴見警察署、山手警察 署、戸部警察署)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリートパラトライアスロンの一部コース変更 (以下、凡例参照)</li> <li>・新たなエイジランコース設定に伴う警備計画の策定協力</li> <li>・エイジランコースの変更に伴う、警察官の増員</li> <li>・テロ等違法行為の未然防止に係る警備体制の強化</li> </ul>
横浜市消防局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・万が一の事態に備え、大会会場内に救急車を配置</li> </ul>
横浜海上保安部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイム会場となる海域占用区域への関係者以外の船舶侵入を取り締まるため、外周への船舶を配置</li> </ul>

#### イ 危険性の高いコースの一部変更

##### 変更の主旨

エリートパラトライアスロンバイクの出口を全カテゴリー同じ箇所に集約することで、選手同士の交差を避ける。



### (4) 医療・救護対策

JTUメディカルチーム・昭和大学3病院の医療救護体制に加え、山下公園内EXPOエリアに観戦者も対応可能なメディカルテントを新たに設置し、選手やスタッフはもちろん、大会に関わる全ての人が安心・安全にトライアスロン大会を楽しめる環境を整えます。

### (5) 避難対策

#### スイムエリアの緊急時誘導 - 津波・Jアラート対策 -

長距離音響発生装置 (LRAD) を日本郵船氷川丸に設置し、選手がスイム時に大地震・津波の発生時、選手への警報と誘導の際には、高い指向性と大音量のスピーカーでスイムコース全域をカバーし、万が一の事態に備えます。



11 新たな取り組み

11回目を迎える今大会は、「新たなステージへの成長」をスローガンに掲げ、未来へつなぐレガシーとして、新たに6つの取り組みを実施します。

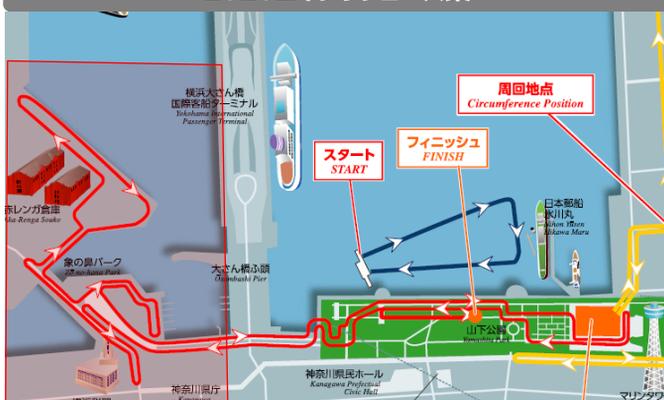
(1) エイジグループ ランコース変更

アスリートサービスの向上として、赤レンガ倉庫をエイジランコースに取り入れることで、より横浜らしいコースとし、新たな魅力づくりを創出します。

主な変更点

象の鼻パークから赤レンガ倉庫へコース延伸

2020エイジランコース案



2019エイジランコース



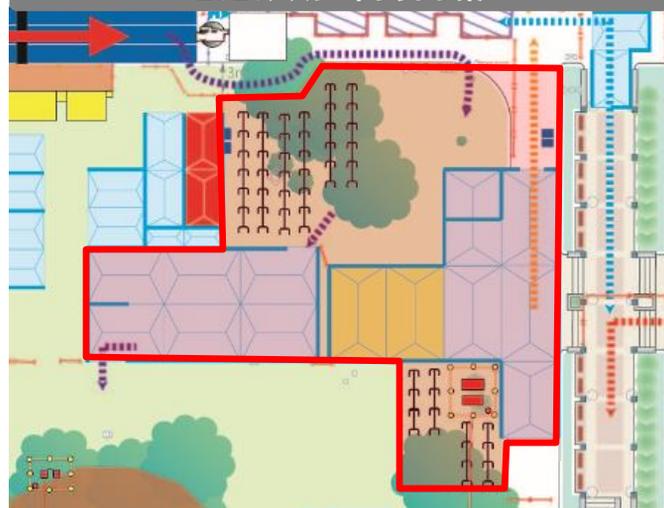
(2) アスリートエリアの拡充

アスリートサービスの向上として、エリートアスリートラウンジを拡充します。

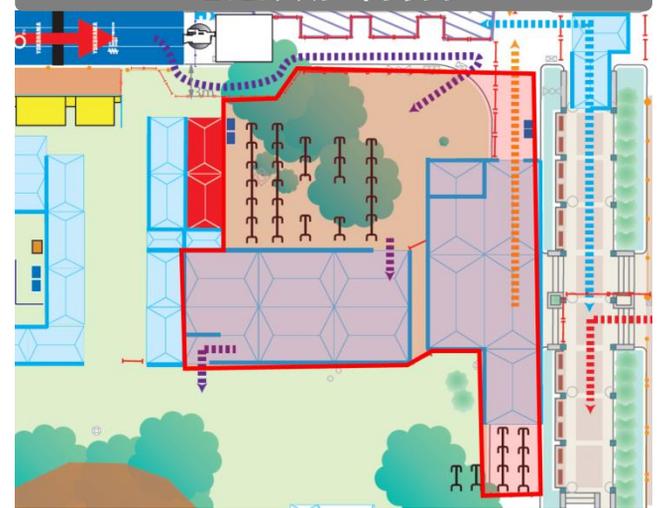
主な変更点

- ・アスリートエリア内のテント2張増
- ・バイクラック設置数の増

2020アスリートラウンジ案



2019アスリートラウンジ



### (3) 持続的な環境保全活動の推進

新たな9つの取り組みを取り入れることで、環境省が推進する「プラスチック・スマート」や「海洋プラスチックゴミの削減」に向けて、サステナビリティの向上を目指します。

	取り組み事項	具体内容・調整状況
1	ペットボトルのリサイクル	中期的目標として、大会で出たペットボトルをリサイクルしたオリジナルTシャツ等の作製を目指します。
2	エコバッグの導入	「バッグ持参の日常化」を推進するため、「愛着」が持てるバッグの製作を実現します。
3	紙・木製ストローの導入	横浜市SDGsデザインセンターとの事業連携に取り組みます。
4	マイボトル持参の推奨	選手・観戦者に向けて、大会会場へのマイボトル持参を促します。
5	リユースカップの導入	VIP（ファミリー）ラウンジでの導入を実現します。
6	スタッフ用弁当のプラゴミ削減	プラゴミ削減やフードロスの観点から、昼食提供方法を改善します。
7	電気自動車からの電源供給	電気自動車から会場内大型ビジョン・モニターの電源供給を目指します。
8	環境配慮型製品の導入	環境に配慮した植物油インキ等の推奨とプラスチック製品の使用縮減に取り組みます。
9	子どもをはじめとする市民への環境啓発活動	企業・行政と連携し、来場者体験型のワークショップによる環境啓発活動に取り組みます。

### (4) 新たな広報展開

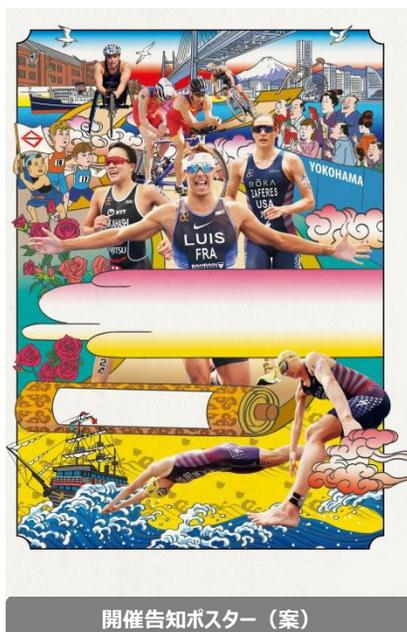
#### ア 新たなポスターデザインの展開

「新たなステージへの一歩」として、これまでの写真を中心としたポスターデザインから、イラストを主体としたデザインに変更しました。実際の写真をイラスト化することで、トライアスロンらしさを失うことなく、競技の躍動感を伝えるとともに、柔らかな印象を与えることで、トライアスロンを身近に捉え、エイジグループの参加意欲を向上を図ります。

また、過去10年間継承している「和柄ポスター」デザインを新たにリニューアルし、写真と和柄イラストを融合させることで、よりトライアスロンの躍動感と日本らしさを伝えるコンテンツとして、新たに展開します。



募集告知ポスター



開催告知ポスター（案）

#### イ プログラムのデジタル化

これまで、紙媒体で作製してきた大会公式プログラムをデジタル化することで、選手や審判員、スポンサー、ボランティア、一般来場者など全ての大会関係者がいつでもどこでも気軽にスマートフォン等から閲覧が可能となります。

デジタル移行することで、誰でもが気軽に大会情報を確認することができ、紙を持ち歩く負担を軽減するとともに、一般来場者からの質問等のQ&Aに対し、効率性とスタッフのストレス軽減の効果が期待されます。また、紙の消費を抑えることで、環境への配慮も実現します。

12 オール横浜の取り組み

(1) 横浜市との連携事業

横浜ブルーカーボン事業やよこはまウォーキングポイントをはじめ、継続的な連携協力体制を築くほか、SDGsやエコ活動の推進など、特に環境保全活動の観点から、新たに3つの取り組みを所管局協力のもと、実施します。

	所管局等	事業名・取り組み
継続	横浜市温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課	横浜ブルーカーボン事業
継続	横浜市政策局	大学・都市パートナーシップ協議会
継続	横浜市文化観光局	広報の優先的な露出協力
継続	横浜市健康福祉局	よこはまウォーキングポイント
継続	横浜市環境創造局	よこはま海づくり事業 ガーデンネックレス横浜2020
継続	横浜市資源循環局 中事務所	ごみ収集車による広報支援、エコステーションの運営協力
新規		ワークショップの実施
新規		紙ストローの導入
新規	横浜市温暖化対策統括本部 SDGs未来都市推進課	チャリティ寄附先の推薦

(2) 横浜開港月間の盛り上げ

5月第1週の「ザ・よこはまパレード」、第3週の「ITU世界トライアスロンシリーズ」、第5週の「横浜セントラルタウンフェスティバル(Y161)」、第6週の「横浜開港祭」の4イベントを開港月間の中心イベントとして、ベイエリアを中心に開催されます。それぞれが連携してヨコハマを盛り上げ、その魅力を発信します。

2019大会参考



### (3) EXPOの開催

横浜大会のもうひとつの魅力であり、参加選手や一般来場者からも大人気の「トライアスロンEXPO」を2日間にわたり開催します。EXPO会場である山下公園では、大型ビジョンから放映されるレースの生中継や生観戦、特設ステージでは多種多彩な催しによって大会を盛り上げます。協賛企業のPRや物販、飲食ブースなど特色あるブースが多数出展し、参加選手や観戦者など幅広い年齢層の方々への賑わいを創出します。

また、「環境にやさしいEXPO」として、生分解性ビニール袋での商品提供やエコバッグの導入をはじめ、今大会ではじめて環境ゾーンを設けるなど、環境に配慮した取り組みを積極的に行います。

### (4) 各種パーティーの実施

協賛パートナーをはじめ、大会にご支援いただく方々へ感謝の意を伝えるとともに、企業間のコミュニティーの場としていただけるよう、今大会も3つのパーティーを開催します。

	公式パーティー	アスリートディナー	感謝のつどい
日程	5月14日(木)	5月14日(木)	5月16日(土)
時間	18時00分 - (予定)	19時00分 - (予定)	18時00分 - (予定)
会場	ホテルニューグランド	ホテルモンテ横浜	ホテルモンテ横浜
対象	スポンサー企業ほか	エリート選手、ITUほか	協力企業、大会関係者ほか

### (5) 大会プレイベントの開催



## Green Triathlon

グリーントライアスロンは、大会運営において自然環境に対する負荷を抑える配慮を施し、様々な視点からリデュース(減らす)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)の3Rを実現し、トライアスロンを通じて、より多くの方に地球環境への意識を高めることを目的として開催します。

名称	2020ITU世界トライアスロンシリーズ横浜大会 1か月前プレイベント「Green Triathlon」
日時	4月18日(土) 11時00分 - 14時30分
会場	山下公園前面海域及び山下公園
主催等	世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会



### (6) 普及・啓発事業

事業名	内容
トライアスロンセミナー / キッズトライアスロン教室	大会参加者が安全にレースに出場していただくため、トライアスロンセミナーを実施します。 また、子どもたちにトライアスロンの魅力を知ってもらい、トップアスリートと触れ合える機会を提供し、夢と希望を与えることを目的として、キッズトライアスロン教室を開催します。
競技団体との連携	神奈川県トライアスロン連合、横浜市トライアスロン協会と連携し、横浜大会の万全な運営とトライアスロン競技の普及を図ります。
横浜ラポールとの連携	障害者スポーツの普及振興とパラトライアスロン競技の安定した運営を目指すとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックへの貢献を目的として、SEA(スイムイグジットアシスタント)育成のため、横浜ラポール協力のもと、横浜から発信していきます。